

男子ホッケーチャンピオンズチャレンジ 2009

大会名	Champions Challenge	日付	2009年7月6日 17:30 ~
場所	National Hockey Sutadiam,UDC,Belfield Dublin	天候	晴れのち曇り
試合数	プールマッチ第1戦	通算結果	日本 0勝 1敗 (勝点0)

Country 日本 JAPAN	RESULT	Country / Team ポーランド POLAND
	Full Time 2 - 3	
	Half Time 0 - 0	

Start	No.	Name	Card
✓	1	高瀬 克也 (GK)	
	28	前田 圭治	
✓	4	粥川 幸司	
✓	5	三澤 孝康	
DNP	6	佐々木 康介	
✓	7	塩川 直人	
	22	福代 勇太	
✓	9	川上 啓	
✓	10	穴井 善博	
✓	12	坪内 一浩 (CAP)	
✓	13	古里 竜二	
✓	14	小野 知則	
✓	15	坂本 博紀	
	17	北里 謙治	56 G
✓	19	長澤 克好	
	16	渡邊 宏樹	
DNP	23	森嶋 彬 (GK)	
	27	三谷 元騎	
監督		山中学	
UMPIRE		ELMER Michael (AUT)	

Start	No.	Name	Card
✓	2	Dutkiewicz Tomasz (CAP)	
	7	Korc Michal	
✓	5	Kluczyn'ski Mirostaw	
✓	6	Zywiczka Bartosz	31 Y
✓	7	Strykowski Marcin	26 G
✓	8	Juszczak Miroslaw	
✓	9	Rachwalshi Dariusz	
	21	Kubiak Bartosz	52 G
✓	11	Go'rny Tomasz	
DNP	12	Matuszak Arkadiusz (GK)	
✓	13	Choczaj Stawomir	
✓	14	Choczaj Tomasz	
	6	Oszyjczyk Szymon	
✓	18	Kmiec' Krzysztof	
	19	Bratkowski Pawel	
	10	Janiszewski Maciej	
DNP	21	Hutek Szmon	
✓	31	Trzaskawka Marcin (GK)	
監督		Maciej Matuszyn'ski	
UMPIRE		CHOPIN Benoit (FRA)	

Contry	Min	Name	Action	Score
POL	37	Strykowski Marcin	FG	0-1
JAP	44	長澤 克好	PC	1-1
POL	49	Go'rny Tomasz	FG	1-2
JAP	54	北里 謙治	FG	2-2
POL	69	Go'rny Tomasz	FG	2-3

Contry	Min	Name	Action	Score

チャンピオンズチャレンジ 初戦の相手は、ポーランド。
 前半立ち上がりから全体的に硬さの見える日本。お互いに初戦ということなのか手堅くこう着状態が続く。最初のチャンスは日本。11分にレフトからの攻撃をライト側のサークルトップへセンターリング。これを穴井がシュートを打つが相手GK正面で得点できず。均衡状態の中、27分レフトサイドからドリブルで入られるがGK高瀬が守りきる。日本は、32分にレフト攻撃からの流れたボールに川上がトラップシュートを打つがポーランドGK正面でリバウンド行けずに得点できず。そのままの流れで前半終了となる。
 前半積極性に欠けていた日本は、後半出だしから積極的に出ていくが、逆に37分レフト側から日本ディフェンスの裏をポーランドはカウンター攻撃しバックライン沿いから中央で合わせられ先取点を奪われる。39分日本ライト側からの攻撃から三谷がパスを受けてリバースでシュートを打つがポーランドGKに阻まれる。早く追いつきたい日本は、44分3連続でPCを奪い3本目でフリッカー長澤が右上に決めて同点とする。波に乗りたい日本だが49分ポーランドのサークルトップ付近での早いセルフパスの攻撃に対し対応しきれず、ライト側へパスを出され押し込まれる。50分の日本のライトからの攻撃。ゴール前の決定機を作るも得点できず。続く54分、ポーランドのロングパスをディフェンスがインターセプトしカウンター。ライトバックライン深くまで古里がボールを持ち込み、折り返しを北里が決め2得点とし再度振り出しに戻る。その後も攻め続ける日本であったが決め切れない。逆に終了間際の69分にレフトから攻め込まれ痛恨の失点をしてしまう。日本は、最後まであきらめずに攻め込むが初戦を落とした。

初戦のせい、安全に試合を進めようとするあまりバックパスが非常に多かった。
 当然、サークルイン・シュートも少なく相手に脅威を与えることができなかった。
 決定機も多々あったが、決め切れず。シュート時の状況判断の悪さが目立った。
 失点も結局はマークの甘さである。この辺りを修正して次戦に臨みたい。

日本	10	シュート数	8	ポーランド
	3	PC数	2	